



世界自然遺産の島 屋久島

No.38

平成29年
6月

屋久島町 議会だより



志戸子ガジュマル祭りへの出店
(福祉施設紹介) 就労継続支援事業所〔屋久の郷〕(P15へ続く)

《主な内容》

- | | | | |
|----------|------|-----------|----|
| ◇第1回定例会 | 2~14 | ◇総括質疑 | 12 |
| ◇常任委員会報告 | 4~7 | ◇[福祉施設紹介] | 15 |
| ◇一般質問 | 8~12 | | |

3月定例会の報告

平成29年度予算総額
158億4456万9千円

平成29年度一般会計当初予算は、前年比5億2300万円減の96億9600万円。主な増減要因は、3年目となる合併新法による50%の減額措置と庁舎建設事業の当初予算計上を見送ったこと等による減額と、有人国境離島特別措置法に基づく航路・航空路運賃の低廉化事業や農水産物の輸送コスト支援事業等に

◎平成29年度
一般会計当初予算
96億9600万円

会 期	3月7日～24日
審議内容	○平成28年度一般会計補正予算 ○平成28年度特別会計補正予算7件 ○陳情=1件(12月定例会より継続) ○平成29年一般会計当初予算 ○平成29年度特別会計当初予算8件 ○条例案=18件 ○その他=7件
可決等状況	○12月定例会より継続審査となっていた「ごみ処理施設に関する陳情」は、再度継続審査となったが、その他は全て原案のとおり可決された。

かかる経費の増額である。

◎平成29年度
特別会計当初予算
61億4856万9千円

平成29年度特別会計当初予算は、前年比1億1324万8千円増の61億4856万9千円。一般会計からの繰入金金は、8億7370万4千円で一般会計予算額の約9%を占めている。

条例の制定及び改正

○個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例及び個人情報保護条例の一部改正Ⅱ〔個人情報保護に関する法律及び行政手続法における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴う改正〕
○職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部改正Ⅱ〔地方公務員の育児休業等に関する法律等の一部を改正する法律の施行に伴う改正〕
○特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正Ⅱ〔フェリー太陽について改善方策を検討するための改正〕

○一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正Ⅱ〔平成28年人事院勧告に基づく改正〕
○職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正Ⅱ〔フェリー太陽の特に重要な業務を行う者に手当てを支給し、その任を保障するための改正〕
○田上育英奨学基金条例及び岩川雅巨百歳長寿記念育英奨学基金条例の一部改正Ⅱ〔育英資金貸付基金条例の全部改正に伴う改正〕
○岩崎育英奨学基金条例の一部改正Ⅱ〔岩崎育英奨学基金条例と町奨学資金条例を一つに統合するための改正〕
○税条例の一部改正Ⅱ〔地方税法等の一部改正に伴う改正〕
○町営一般住宅管理条例の一部改正Ⅱ〔町営一般住宅管理条例を町営単独住宅管理条例に改めること等に伴う改正〕
○へき地学校教職員住宅管理条例の一部改正Ⅱ〔八幡小へき地学校教職員住宅の立替え等に伴う改正〕
○育英資金貸付基金条例の一部改正Ⅱ〔育英奨学資金の貸与に関する事務を円滑かつ効率的に行うための改正〕



栗生医師住宅

○口永良部島定住促進住宅条例の全部改正Ⅱ〔口永良部島の振興に寄与するために必要な方法に見直すための改正〕
○育英奨学基金積立基金条例の制定Ⅱ〔奨学金事業の安定した運営に資するための制定〕
○医師及び看護士住宅管理条例の制定Ⅱ〔医師及び看護士の確保のために必要な生活環境を整備するための制定〕
○国民健康保険税条例の一部改正Ⅱ〔国民健康保険法施行令の一部改正に伴う改正〕
○町営船使用料条例の一部改正Ⅱ〔有人国境離島特別措置法の施行に伴う改正〕

第1回定例会

○行政組織条例の一部改正
〔新庁舎建設に伴い積極的かつ円滑な事業推進を図るための改正〕

補正予算（▲は減額）

◇一般会計補正予算

歳入歳出の主なものは不用額の減の他、保育所運営費、生活保護費国庫補助金の過年度清算金、町営住宅解体工事費等の増で1億1993万9千円を増額し総額を112億5102万4千円とするもの。

【主な歳入】

- 地方消費税交付金 1183万1千円
- 普通交付税 2億1956万3千円
- 教育費国庫補助金 524万6千円
- 市町村振興宝くじ交付金 4237万円
- 【主な歳出】
- 財政調整基金積立金 1億7250万6千円
- 公共施設整備基金積立金 1億5000万円
- 保育園運営費 546万5千円
- 生活保護費にかかる国庫補助金の過年度清算金 2627万9千円
- 生活保護費扶助費 5000万円
- 診療所特別会計繰出金 788万円
- 海岸漂着物対策事業地域委託料 3308万9千円
- ごみ処理施設燃料費 924万円
- 県営中山間地域所得向上支援事業負担金 905万円
- 有害鳥獣捕獲対策事業補助金 752万7千円
- 公営住宅外壁防水工事費 2035万円

○町営住宅解体工事費 450万円

特別会計

◇簡易水道事業補正予算

南部地区の事業費の減額を一般会計繰入金等で調整し、851万2千円を減額し、総額を5億5676万8千円とするもの。

◇国民健康保険事業補正予算

保険給付等の減額を国庫支出金等で調整し、5319万8千円を減額し、総額を2244万5千円とするもの。

◇介護保険事業補正予算

保険給付費の減額を一般会計繰入金等で調整し、851万2千円を減額し、総額を5億5676万8千円とするもの。

◇診療所事業補正予算

診療所使用料等の減額を一般会計繰入金などで調整し、586万9千円を減額し、総額を1億8556万1千円とするもの。

◇農業集落排水事業補正予算

公共施設置工事費の増額を一般会計繰入金などで調整し、7万9千円を増額し、総額を6366万8千円とするもの。

◇船舶事業補正予算

運賃収入等117万9千円の減額に伴い、総額を3億200万4千円とするもの。

◇後期高齢者医療事業補正予算

保険料等の精査により、84万5千円を減額し、総額を1億4662万4千円とするもの。

その他

○債権の放棄について(2件)

Ⅱ〔居所不明等により履行される見込みのない住宅家賃及び水道使用料の債権を放棄するもの〕

○林道屋久島南部支線災害復旧工事請負変更契約の提携についてⅡ〔設計変更に伴い、7560万円を8263万3千円に変更するもの〕

○安房体育館改修工事請負変更契約の締結についてⅡ〔設計変更に伴い、5853万6千円を6080万3千円に変更するもの〕



4月15日に行なわれた海岸清掃



外壁改修工事が完了した安房体育館

以上、前定例会より継続審査となっていた「ごみ処理施設に関する陳情」以外は、全て原案のとおり可決した。

総務文教常任委員会報告

(付託された議案を質疑、討論を経て採決します)

財産管理課

債権の放棄（町営住宅）について

問) 賃貸者、連帯保証人との連絡はどのようになっているのか。

答) 本人から徴収できない場合は必然的に連帯保証人に相談に行くが、保証人が亡くなっていたり転出していたりすると連絡がつきにくくなるのが現状である。

屋久島町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正（船舶）

問) 対象は次席船長か、また機関長はどうか。

答) 船長として乗船したときのみ発生する手当てで機関長も同じである。



フェリー太陽

屋久島町営一般住宅管理条例の一部改正

問) 基本となる家賃は設定しているのか。

答) 一般住宅の家賃設定は建築年度と住宅の規模によって家賃の設定をしている。町営住宅は本人の所得申請によって家賃が決められる。



一般住宅

企画調整課

屋久島町口永良部島定住促進住宅の全部改正

問) 家賃算定は住宅の間取りと関係ないのか。

定住してもらう事が第一なので統一した金額

答) 額にしている。

屋久島町一般会計予算（分割）

給食費が歳入に計上されない理由は。

問) 給食費は食材費のみを徴収している。昨年度検討したが他市町村も予算として取り扱いをしていないので、本町もこれまで通りとした。

答) 未納分について学校側が苦慮している。債権者が町である以上、他市町村に先駆けて町予算に組み込むよう取り組んでほしい。



東部共同調理場(安房)

庁舎建設が1年遅れたが今後どのような予定で進めるのか。

問) 28年度計画が遅れたことで契約が3月となったが、4月以降順次着工していく。28年度分を29年度に実施し、今後は6月定例会以後に29年度分を計上していく。



新庁舎造成工事状況

総務文教常任委員会報告・議会動向

問) 賦課徴収費の減額があるが。

答) 事務相談員等の費用を削減している。4月1日からは自主納税となり、自ら足を運んで納税してもらう。

問) スクールバスの通学補助について改善はされたか。

答) 南部と北部の距離の統一化については、学校や地域と協議をしている。危険箇所 の点検も行い、各機関で対応するようにしたいが、まだ合意は得られていない。

意) 南部と北部の整合性をしっかりとってほしい。明確な理由をつけて29年度中に決着をつけてほしい。



スクールバスに乗る子供達(宮之浦・深川)

問) 屋久島の里伝統文化調べの具体的内容は。

答) 屋久島環境文化財団が行う伝統文化記録事業である。5集落で実施する。自然、郷土行事、民俗芸能を記録し映像化するためのものである。



岳参り(宮之浦)



平内棒踊り

議会動向(平成29年3月～5月)

- 3月 1日 屋久島高校卒業式
第1回議会運営委員会
- 2日 九州森林管理局表敬訪問
及び鹿児島木材銘木市場視察
- 4日 屋久島森・水開き(白谷雲水峡)
- 7日 第1回定例会開会(～24日まで)
- 14日 各中学校卒業式
- 22日 日本列島島いところ交換ホームステイ総会
- 23日 各小中学校卒業式
- 27日 屋久島空港ターミナルビル株主総会
- 29日 熊毛地区消防組合議会
- 4月 6日 各小・中学校入学
- 7日 屋久島高校入学式
- 13日 屋久島高校第4回創立記念日講演会

- 15日 屋久島海まつり
- 22日 熊本県菊陽町議員との意見交換会
- 23日 第8回ふるさと産業祭り
- 25日 県政説明会
- 5月 2日 県離島振興町村議会議長会離島議長行政調査(徳之島～4日まで)
- 9日 熊毛郡町議会議長会定期総会(鹿児島市)
県離島振興町村議会議長会臨時総会及び議長研修会(鹿児島市)
- 10日 市町村議会議員研修会(鹿児島市)
- 17日 屋久島空港整備促進協議会総会 他
(西之表市)
- 22日 第4回議会報告会・意見交換会
(～25日まで)
- 23日 熊毛地域農政企画推進会議総会(西之表市)
- 31日 全国町村議会議長・副議長研修会

産業厚生常任委員会報告

(付託された議案を質疑、討論を経て採決します)

債権の放棄

問) 履行される見込みのない水道料金は、債権者の同姓同名者にも番地があるはず、番地による確認はできなかったのか。

答) 未納者で古くは昭和57年、最新でも10年前のものもあることから確認できなかった。

意) これを教訓として今後は確認作業を徹底してほしい。

医師住宅及び看護師住宅条例の制定

問) 今まで条例がなかったのはなぜか。

答) 医師住宅の3戸については、任意の運用で行っていた。



永田診療所医師住宅

一般会計予算(分割)

問) 社会資本整備総合交付金事業は立木補償など、全てが対象になるのか。

答) そうである。

問) 立木補償の設計予定額は。

答) 大川の滝線橋梁700万円、麦生・高平線300万円、えびす通線500万円である。

問) 麦生の県道拡張に伴うバス停はバス会社は関係しないのか。

答) 建物はバス会社、停車帯は工事の中での整備である。



拡張される麦生集落内を通る県道



解体中の危険家屋

問) 危険家屋の解体補助金は150万円計上だが、毎年それ以上あり追加補正しているが当初で計上しては。

答) 財政担当と折衝する。

問) 有人離島割引で復興が進む口永良部島の資材物資等の運搬費も補助が受けられるようにすべきでは。

答) 企画調整課と協議する。

問) 森林組合への助成は毎年同じ事の繰り返しだが、自主財源で運営できるよう指導すべきでは。

答) 5年単位の事業計画となっており、平成30年が最終年度なので検討している。今後も引き続き指導する。

問) 農業農村整備事業で地域ストマネファームポンドとあるが内容は。

答) 南部畑かんの補修にかかるもので町、土地改良区、受益者のいずれかが事業主体となるもので、負担割合も変わってくる。

問) 輸送コスト支援事業補助金は海上輸送に限られるのか。

答) 昨年度まではそうであったが今回見直され航空輸送も対象になった。

問) 屋久島杉材魅力再発見委託事業の内容は。

答) 林業振興を図るため、島の杉材の魅力を見つけ、用途なども調査研究する。

問) 総合自然公園は歳入より歳出が大きい。また、借地料は何年払っているのか。

答) 固有植物だけでなく、売れる植物の販売も

産業厚生常任委員会報告

検討している。借地料については20年である。改善策を検討したい。

問) し尿処理施設の3100万円の修繕費の内容は。

答) 回転平幕装置の整備と予備浄化貯留槽の保守点検費である。

問) 回転平幕装置整備は毎年のことだが、どうにかならないのか。

答) 技術進歩によりこの装置を通さないものも出てきている。機械の載せ替え時期もきているので検討する。

問) 観光振興プロジェクト事業の成果は。

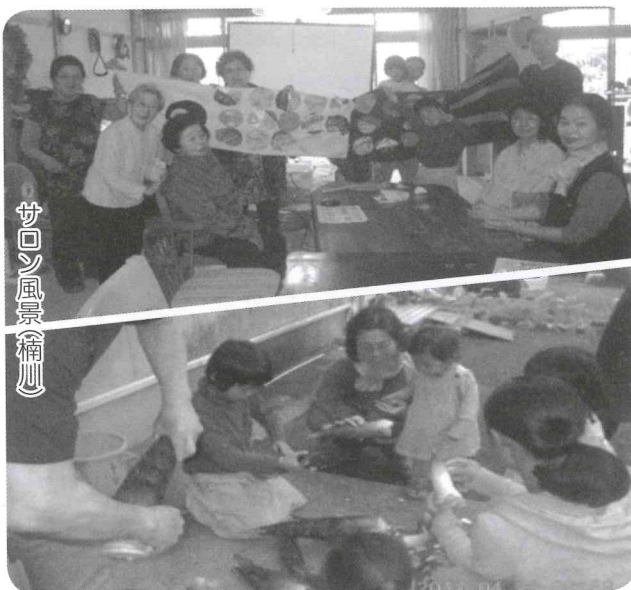
答) これまでのデータをもとに都市部でピアーナル活動を行った結果、秋口から客が増えている。これの効果を見いだすことが命題と捉えている。

問) 生活保護世帯が145から157に増えている要因は。

答) 高齢者の見回りが各地区で活発に行われており、生活困窮者への声かけが進んでいることなども考えられる。

問) サロン活動状況とその内容は。

答) ほとんどの集落で取り組んでいる。内容はカラオケ、踊り、お茶飲み、ゲーム、手芸等で、皆で弁当をつくり、高齢者宅に配付しているところもある。



簡易水道事業予算

問) 10月から予定されている水道料金の値上げ率は。

答) 20～25%を予定している。また、町民への周知は町報やホームページなどで行う。

国民健康保険事業予算

問) 医療費適正化地区推進事業の実施地区は。

答) 安房・春牧地区を想定。

問) 公共施設管理公社への委託料は1名分にしては高いと思うが。

答) 業務内容がレセプト点検のため、医療事務有資格者でなければならない。

介護保険事業予算

問) 介護支援者数の前年との比較はどうか。

答) 高齢化率が進むので増えると予測されるが現時点では数の予測はつかない。

問) 在宅介護が増えると思うが対策は。

答) 介護職不足なので、島内で実務研修等を実施できるようにしたい。

診療所事業予算

問) 栗生・永田診療所の予算の増減は。

答) 永田の増額は改修工事、栗生の減額は事務長不在となり、職員が事務を行うため。

問) 電子カルテシステム導入のメリットは。

答) データをCD、DVDに保存できる。また、別の医療機関とのやりとりもできる。

集落排水事業予算

問) 浄化槽とポンプの管理者の選定は。

答) 入札で行っている。

電気事業予算

問) 屋久島電工の炉の電力切り替え時に負荷が生じるリスクがあったが、現状は。

答) 以前は瞬時低電圧により、電化製品が故障したりでクレームが多かったが最近は聞かない。3事業体で組織する配電協議会で安定供給の要望も行っている。

後期高齢者医療事業予算

問) 本町の後期高齢者のピークはいつか。

答) 団塊の世代が75歳になる2025年頃ではないか。今はおおむね横ばいである。

以上、付託された案件は、全て原案のとおり可決すべきものとした。

一般質問

7人が町の考えを問う

3月8日と9日に行なわれた一般質問を通告順に掲載しています。この内容は、議会会議録をもとに質問者の責任において質問及び回答を要約したものです。

なお、会議録は議会事務局・町図書室・各集落の公民館で閲覧することができますので、詳細については会議録をご覧ください。

**防災施設について
町長／木造でつくるように進める**



石田尾茂樹 議員

問 多目的機能を有する防災施設として避難住宅跡地に屋根付ゲートボール場等を建設するお考えはないか。

答 津波想定より高い位置にあり、病院等も近いことから、住宅火災やその他大きな災害発生時の避難場として十分活用されるものと考えられるが、避難施設となると、備蓄品の保管庫としての機能などもあわせ持つ多目的・多機能なものでなければならぬ。財源の工面も含め、具体的な検討を早急にしてみたい。

問 施設について何とか建設を先行できないか。
答 防災施設を兼ね備えたものはなかなか難しい。要望も受けており、屋根付ゲートボール場として、中小規模な

大会ができる施設としてつくったほうが良いと考えている。

観光振興策としての町道の改修について

町長／景観に配慮した附帯施設の整備も検討したい

問 里地の観光スポットである益救神社前町道えびす通り線の景観復元の為の改修工事

が必要ではないか。
答 町道恵比寿通り線の約一キロの区間の改修を社会資本整備事業で計画している。

問 益救神社に年間二万人訪れている。海が見えるように防波堤の整備ができないか。

答 防波堤は県の管理である。神社の鳥居から海が見えるよう県に伝え、精いっぱい努力する。



益救神社前の町道えびす通り線

早急に実施すべきでは、超高速ブロードバンド基盤整備事業

町長／導入方式を精査し、早期の事業実施を図りたい



寺田 猛 議員

問 地域の活性化を図っていく上で超高速ブロードバンド基盤の整備推進は必須である。本事業導入に向けた課題と展望に関する見解を伺う。

答 高速ブロードバンド整備事業は、島内受信環境の向上や企業誘致を推進する上で重要な施策であると強く認識している。導入方式として公設公営・公設民営・民設民営等の方式がある。民設民営方式で町内全域の実施で7億前後の財政負担が見込まれる。導入方式の精査をし、国の補助事業等を勘案し、最も負担の少ない方法、時期を検討し早期の事業実施を図りたい。

屋久島空港滑走路延伸計画の進捗と展望について

町長／事業化に向け着実に進展している。8年後のジェット機就航を目指し鋭意努力する

問 屋久島空港は、ジェット機就航可能な滑走路延伸事業化に向けて、昨年・一昨年と二年間に渡り、技術調査や旅行意向・需要予測調査等が行われてきたが、それらの結果と事業化に向けての今後の課題や展望を伺う。

答 今年度も県が、延伸事業化に向けて格上げした予算4300万を計上し、新知事のもと滑走路延伸実現に向け大きく進展した。

今後はジェット機就航に向け路線開設基準の需要見込みの対策や航空会社との調整・環境影響評価の実施・対象地の地権者からの土地取得同意等の課題が予想される。それらの解決に鋭意取り組み、関係機関と連携を図り8年後のジェット機就航を目指す。

本町の児童・生徒の学力・学習状況調査の結果について

教育長／総合的に県平均をやや下回っている。学力向上に向け教育委員会として調査研究をし改善策を町当局や関係機関と協議する

口永良部島の湯向地区・寝待の災害復旧工事について

町長／湯向地区は、近々入札し工事発注する。寝待地区は、災害規模が大きい為、復旧工法を協議中である。三反園知事に口永良部島への視察を要請、日程を調整中である



寝待地区の災害現場

新庁舎建設の総事業費は

町長／本体工事15億円、造成・外構工事2億円、設計・管理費1億円、木材調達費15億円、その他5千万



小脇 清保 議員

問 29年度の事業費の見直すところはありますか？

答 現在そのつもりでいる。

問 今後各集落での説明会を開くと明言したが、実施は？

答 この議会が済み次第、行う。

問 その時点で住民が見直しを求めたら見直すのか？

答 意見が出れば、見直しが良いか、悪いかは最終的には私が決断する。

問 多くの町民が希望する事であれば、それが優先するのではないか。

答 やって見て、私もそこで考えるという事だ。

問 旧庁舎の利用のあり方は、何も進んでいないが夫々健康増進施設にすれば、将来医療費の抑制につながると思

うが。

答 大事な事だと思う。今内部で一生懸命やらせている。

クリーンサポートセンターの改善について

町長／焼却方式に転換する事が望ましい

問 多額の費用を要する施設を交換すべく検討委員会を早くに立ち上げるべきだと思うが。

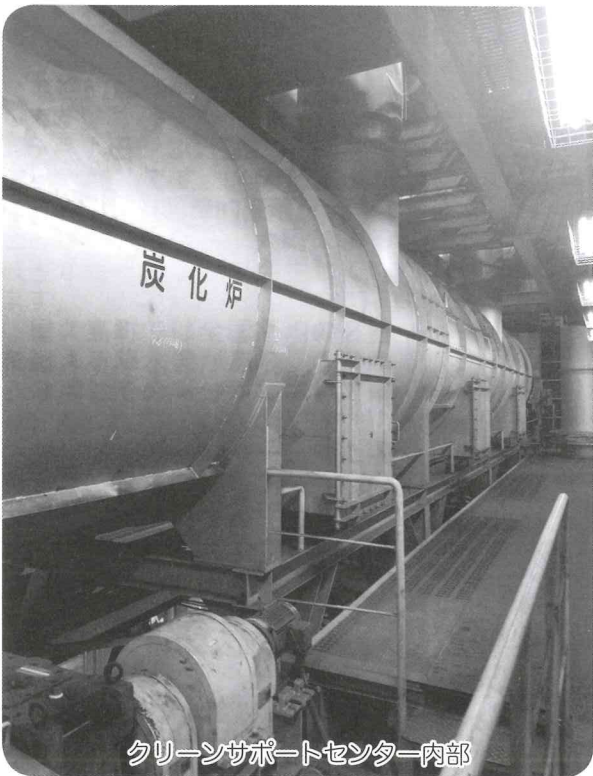
問 島民には島発割引がある。この法案は観光客に恩恵を与え、観光客増に結びつけるべきと思うが。

答 10年間の議員立法である。今、緒に就いたばかりであるが、関係自治体とも更に検討して良いものにすべく努力する。

答 内部できちつと精査をさせて、そういう方向で検討もしていきたい。

有人国境法案の活用は

町長／今後更に検討して交渉していく



クリーンサポートセンター内部

がん患者への心のサポート体制づくりの取り組みは

町長／屋久島医師会等と町でできる範囲の体制づくりを検討したい



山崎 利広 議員

問 がん告知を受けた患者（家族を含む）への心のサポート体制づくりに町として取り組む考えはないか。

答 働く世代のがん患者が増えており、仕事と治療の両立や精神的・経済的支援などニーズは多様化することが予想される。このため、必要に応じて屋久島医師会や徳洲会病院と町でできる範囲の体制づくりを検討していきたい。

問 集団検診で要検査となった後、病院での検査結果が出るまでの間（3週間以上）の心のケアが必要だと思う。がん相談ホットライン等の情報提供はできないか。

答 外部の心理カウンセラーの紹介等、情報提供を行っていききたい。

町が管理するトイレの実態と改善予定は

町長／和式・洋式とも長所、短所があるが町民の要望を聞きながら、必要に応じて年次的に改善していく

問 町が管理するトイレの実態はどうなっているか。また高齢者等のために洋式に改善する予定は。



尾之間運動広場に設置されている簡易トイレ

答 和式・洋式が設置されており、更なる利用者からの要望はない。共に長所・短所があるが、高齢者のために手すりを設置するなど、町民の要望を聞きながら必要に応じて、年次的に改善していく。

問 尾之間運動広場にトイレを設置するという答弁だったが、どうなったのか。

答 財政状況のこともあり、28年度できなかったことをお詫びしたい。29年度の早い時期に設置する。

失敗しない地域おこし協力隊の在り方は

町長／地域に十分溶け込める人材の採用



日高 豊 議員

問 前回の協力隊員の経験を踏まえて本年採用予定の協力隊員への取り組みは。

答 本年は、ふるさと納税に関する取り組みをメインにそ



わが町の地域おこし協力隊員となった上田彪雅さん（中央）（熊本出身）

の採用を考えている。採用に当たっては、地域とのミスマッチがないよう地域に十分溶け込める人材を確保したい。

問 本制度の活用のために、地域の問題点を行政がしっかりと分析し、隊員に対してしっかりととしたミッションを与えなければいけないと思うが準備は万端か。

答 お互いの思いが一致するかどうか重要と考えるので書類資料の精査と面接をしっかりと行いたい。基準に達していないと判断すれば、再度の募集も考えている。

協力金制度は準備万端出発できたか

町長／オール屋久島で実行改善しながらより良い制度にしていく

問 遺漏なく準備はできたか。

答 おおむね順調に準備は整ってきたとの認識であったが、収納員の確保が不十分でのスタートとなった。

問 ガイドの定額制や協力金ゆえの弊害など、島内での認識共有また、国県の認識や責任の分担などまだ不十分では



荒川登山バス乗車状況

ないのか。
答 まだまだ解決すべき課題が無いわけではない。よい制度にするためにオール屋久島で取り組んでゆきたい。
問 将来的には、ガイドの帯同義務を負うような入山料への移行を考えていくべきではないか。
答 入山料の再議論も含め次への取り組みも考えるべきであり議論をしてゆきたい。

新品種K P-2の導入
 町長／面積拡大に向けて推進



岩川 俊広 議員

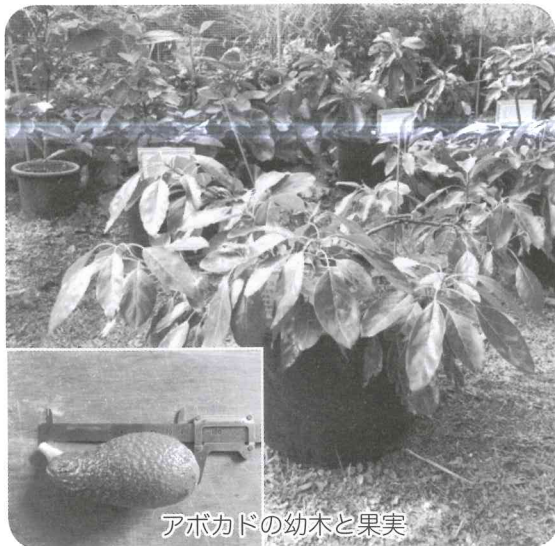
問 ポンカンの新品種K P-2の導入をどのように進める

熱帯果樹を屋久島の特産品に
 町長／栽培の可能性を検討

問 町内では、マンゴーやパッションフルーツ等が栽培されているが、アボカド等他の熱帯果樹を、

屋久島の特産品として育成するために取り組む考えはないか。

答 アボカド等栽培に取り組み農家も出てきており、ポンカン・タンカンに並ぶ第三の果樹として熱帯果樹の屋久島にお



アボカドの幼木と果実

考えか。
答 K P-2は県農業開発センター果樹部で新規に育成された品種で、早生系で屋久島においては11月中旬から収穫でき、カラーリングする必要もなく、着色・糖度ともにすぐれたポンカンである。県果樹部から購入した苗木を母樹として苗木を育成し、面積拡大に向けて推進していきたい。

地杉販売促進策は
 町長／島内産材のブランド化を図る

問 屋久島地杉加工センターの整備により、地杉の販売拡大が進みつつあるが、販売促進のために民間と一体となった取り組みが必要ではないか。

答 伐採・製材に加え、加工・販売へつなげることににより、島内産材のブランド化を図り、製材生産量の拡大や町民の雇用拡大・所得向上へつなげるのが行政の使命と考えるので、販路拡大していくには、民間と一体となった取り組みが重要であるので、今後検討していく。



屋久島地杉加工センター（小瀬田）

第1回定例会議員表決一覧（賛否の分かれた議案等のみ） ○は賛成 ●は反対

※議長を除く

件名	議員名 結果	石田尾	日高(忠)	緒方	永野	山崎	真辺(有)	岩川(修)	小脇	下野	岩川(俊)	日高(豊)	真辺(万)	寺田	渡辺	満園	
		住宅料の債権の放棄について	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
平成29年度一般会計予算について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○

鮫の被害に漁師が苦しんでいる。早急に対応すべきではないか

町長／喫緊の課題と考えている



渡辺 博之 議員

問 「サバを1、2匹釣ったら、後は鮫の餌を釣っているようなものだ」「20本のつりの仕掛けが全部とられた」など、鮫の被害が深刻だ。国の離島漁業再生支援事業が本年度100万円ほど増額になっているが、町独自の財源も含め必要な財源を確保して、猿(1頭1万2千円)鹿(1頭1万円)の駆除と同様の方式で実施すべきではないか。

長寿祝い金の中身の見直しを

町長／いろいろな考え方がある

問 長寿祝い金が減額されたが、その内容は80歳と85歳が同額の1万円、90歳と95歳も同額の2万円となっている。これでは5年間の長寿を祝う気持ちを示されていないことにならないか、改善すべき。

庁舎建設の見直しで経費削減を

町長／喫煙所は削除する

問 軒の長さが1.8mになっているが、設計事務所できえ宮崎にあるとしか答えられなかったまねな工法をなぜ採用したのか。壁に防水、耐水を実施するのであれば、壁を保護するためという理由は成り立たない。見栄えを重視したことが主な理由ではないか。議会棟の作りも豪華なつくりになっている。議会棟こそ質素

総括質疑

所属する委員会以外のことについて本会議で質疑を行なうものです。

問 安房体育館の契約変更は、昨年10月にも1億9000万円追加工事が出ている。しっかりと設計がなされていれば、ありうる話ではないかと思うが。

答 今回の変更は当初計画になかった新たな改修計画で、新たに設計して提案している。

問 今回町道認定が提案されている宮之浦上田(かみだ)の道路の総延長は、複雑な問題を抱えている上田地区だが、この町道認定で、道路の後方にある土地の活用が困難になることが心配されるが。

答 この道路は地権者のみなさんの要望に基づいて設定したものだ、心配されることについては今後地主の代表とも相談をしながら、対応していきたい。

問 平成28年度の庁舎の整備について、その進捗状況は。

答 3月中旬に本体工事、電気、設備工事の入札を行い、28年度中に工事を行い、100%執行を予定している。

問 栗生にある青少年旅行村の老朽化は激しく、解体ということも考える状況だと思いが、今後の管理のあり方についてどんな協議がなされているか。

答 この一、二年は必要な修理を一定の予算内で行っていくが、現在バルコニーの腐朽がひどく、これをどうするか協議中だ。今後の対応についても本格的な協議を進めていく。

問 海岸漂着物の対策費300万円増額の理由と、回収は許可業者という理解でいいか。また、漂着物はクリーンサポートセンターで処理できるのか。

答 29年度分の対策費を、28年度に前倒するようという国の指導があり計上している。業者については、移送があるので許可業者ということになる。クリーンサポートセンターではできないことになっているが、一度運び込んでから、内容を調査して判断したいと考えている。

平成29年 3月定例会 町長の所信表明に対する質疑

山岳保全協力金

問) 山岳保全協力金で淀川登山口で徴収ができなかった理由は何か。

答) これまでの協議の中で、平成29年度以降、環境省が徴収するための小屋をつくるという前提で、それまではプレハブ小屋で実施しようとして昨日設置したところです。

問) 以前の協力金徴収で、ガイドをはずしたことで徴収額が減額したという結論が出ている中で、今回ガイドの入山協力金を一ヶ月1000円と特別扱いにしたことは、町民の理解が得られないと思うが。

答) 一般の方々も有効期限が一ヶ月1000円ということになっているので、ガイドだけが特別枠ということではない。

問) 生業を目的とするガイドと、一般は違う。特別な配慮は必要か。

答) 会議の中でもそのような議論がなされた。今後、そのことも含め、よりよい制度につくりあげていきたい。

有人国境離島支援事業

問) 有人国境離島支援事業は鹿児島県の場合、当初の7月実施予定が、全国の流れに合わせて4月1日実施になったと聞いている。実際、まだ交通会社と協議中の段階で、町民が不利益にならない対応をとるべきではないか。

答) 三角航路など、複雑な航路状況で手間取り、料金決定に至らず、遅れていることは指摘しておりだ。できる限り、町民には不利益を与えないような形でやっていきたい。

庁舎建設

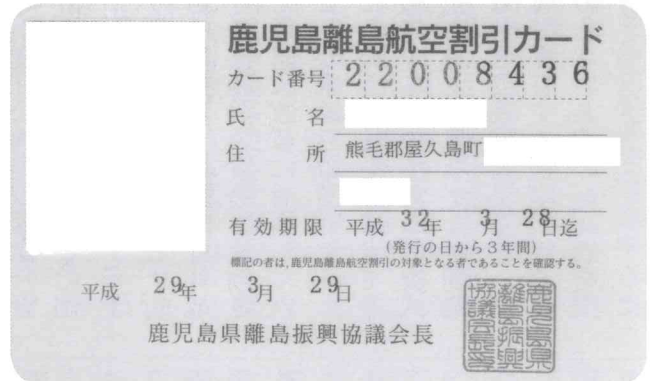
問) 庁舎建設で、思惑通りっていないというのはどういうことか。

答) 工期との関係で構造材はプレカットで行うことにしている。木材の乾燥はうまくいっているが、導入する新たな製材機であら引きをすると、来年3月の完成は困難なことから、構造材はプレカットで、導入

した機械では内装材、床材、壁材を加工することとした。



荒川バスチケット販売所での協力金徴収(自然館前)



割引カード



木材ストックヤード(小瀬田)内にある自動四面カンナ盤

議会全員協議会報告

〈平成29年3月21日開催〉

1 財務書類について

(総務課より説明)

現在、地方公共団体の財務会計は、年度単位を基本とする現金主義がとられており、会計手法は、収入と支出を単純に差引する単式簿記の方法を用いているため、取得した資産の状況や減価償却費の把握ができない状況である。取得した資産の減価償却費や退職手当引当金等の非現金支出を含めた資産、負債の状況や、1年間の行政活動にかかるコスト等を明らかにするため、財務書類を作成した。

財務書類の作成・開示は総務省からの要請によるもので、全国的にも取り組みが進んでおり、本町は平成21年度から平成27年度までの各年度ごとに作成した。こういう形で本町の財政や資産の状況を把握していくことが必要になった。大変複雑な内容であり、聞き慣れない文言等もあるが、議会にもこの書類

の作成について報告し、理解をお願いしたい。

財務書類の中身は大きく4つである。貸借対照表(バランスシート)がまず一つ。次に資金収支計算書でこれらの4つを合わせて財務書類という。これらは民間企業でいうところの貸借対照表・損益計算書・株式資本等変動計算書・キャッシュフロー計算書にあたるものだが、民間企業が利益追求であるのに対し、地方公共団体は住民福祉の増進が目的であることから、民間企業の財務諸表とはやや異なった内容となっているが、企業会計手法を取り入れることで地方公共団体の行財政改革に生かすということで取り組んでいる。

今回報告する財務書類は、決算統計と呼ばれる地方財政状況調査を基にした総務省方式改訂モデルで作成した。作

成方法はこの他に基準モデルというものがあがるが、東京都や大阪府はこれらと異なる独自の手法により作成している。地方公共団体ごとに作成方法が異なることから、平成27年1月に国(総務省)から統一的な基準が示され、平成28年度決算からは当該基準に基づく財務書類を平成29年度までに作成する必要がある。

予算から出てくる決算書、決算書から作られる財務書類ということ、作成しやすくするため平成29年度予算から予算構図等の変更もした。

昨年度、公共施設等総合管理計画を策定したが、この個別計画等を今後策定する上で、財務書類を施設ごと、行政目的単位ごとに細かく作成し、公共施設の計画と連動させて行財政改革に活用していくことが求められる。

こういうことを踏まえて今回報告するものである。複式簿記の考え方等なかなか馴染めないところではあるが、我が町で保有する資産の価値がどのくらいあるのか評価を出す、その資産を形成するに

至った費用や負債、資産の経年による減価償却費の考え方がこの財務書類にも反映されている。今後作成される統一基準モデルには、町の固定資産台帳整備が求められる。総務課財政係、財産管理課が協力して整備に取り組んでいる。

本年3月末で任期満了となる議員推薦の委員について、協議の結果、議員の任期満了日まで引き続き同委員(岩川修司・寺田猛)を選任することとなった。

行政報告(町長)

○成人式

1月3日、安房総合センターにおいて新成人188名が参加した。

○消防出初式

1月6日、尾之間すこやかふれあいセンターで消防団員300名が参加。ゆかり幼稚園の幼年消防隊が火山噴火を想定した災害救助訓練を披露し、式を盛り上げていただいた。

○第30回記念鹿児島県地区対抗女子駅伝競走大会

1月29日、霧島市で開催。総合成績で昨年の10位を上回り9位となり、本町出身の前

3 議会報告会について

今年で4回目となる議会報告会の内容確認を行った。

○成人式

田海音さん(鹿児島女子高2年生)は1区で出走し、区間5位の力走を見せてくれた。

○第64回鹿児島県下一周市郡対抗駅伝競走大会

2月18日〜22日の5日間、開催。本町から、町職員、消防分遣所職員等が代表としてすばらしい走りを見せてくれた。

○2017サイクリング屋久島大会

7回目を迎えた本大会は2月19日に開催された。

○第1回大会の199名と比較し、2倍以上となる345名(島内参加者143名)が参加し賑やかな大会となった。

1月29日、霧島市で開催。総合成績で昨年の10位を上回り9位となり、本町出身の前

福祉施設紹介

福祉施設紹介

就労継続支援事業所(屋久の郷)

愛心会では、平成17年に与論町で障害者施設の運営を開始しました。屋久島においては、特別養護老人ホーム等の高齢者福祉のサービスは提供しておりましたが、障害者の方々が利用できる施設がなく地域からの要望もあり、微力ながら障害者施設を開設するに至りました。



餅つき大会

屋久の郷は、平成20年4月より就労継続支援事業B型施設として、障害者が地域で豊

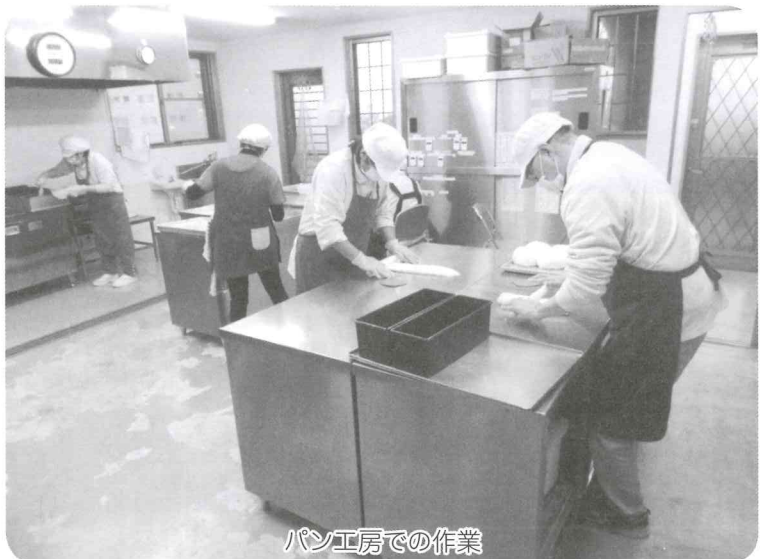
かな生活を送ることを願って、個々の障害の特性、程度あるいは地域性を配慮しつつ、一人ひとりに応じて創意工夫を凝らした福祉サービスを提供することを目指し運営を行っております。作業内容としては、軽食の提供を行って、「カフェレスト陽だまり」ここでは、調理補助を行ったり、クッキーや丸ボーロ等を焼いたり、食器洗いまた接客をそれぞれの適性に応じて作業していただいています。また、パンの製造販売を行っている「パン工房ひこうせん」では、パン生地のごりや成形、販売を行っていただいております。開設当初は、町からの委託で屋久島の環境保全を目的とした募金協力へのお礼の絵馬の製作、プチ菜園を行っていた「木工房匠」は、現在サンドイッチやパンに使用するラベル貼り、ストラップ製作や店内飾りの

製作、委託による清掃作業などを行っております。レストランのご利用やパンを購入などで利用者の方々の働く喜びや働く意欲の提供につながっており、地域や行政の方々の理解を得られていると思います。また、一湊や志戸子等の地域の祭りへ参加することを通しても交流につながっていると思っております。



一目遠足

社会福祉法改正が平成28年度から実施され、これまで以上に事業運営の透明性、地域における公益的な取り組みを実施する責務等を求められることになったわけですが、事業所としては、開かれた施設運営を目指し、現在利用されている方が今以上にやりがいや働く意欲が持て、工賃のアップやまた一般就労への道筋が開かれるようになっていければと考えております。その他、ノーマライゼーションの考え方に基づき、法人の運営状況を考慮しつつかねてより要望のあるグループホームの整備やより重度の方へのサービスの提供ができるよう環境整備を行っていく必要性があると思



パン工房での作業

屋久島では屋久の郷の他に特別養護老人ホーム縄文の郷、グループホームやくしま、グループホームこもればの杜、デイサービス安房の丘、デイサービス屋久の杜、居宅支援事業所、ヘルパーステーションがあり、それらの事業所とともに議会、行政、地域の皆様の支えを得て屋久島の福祉に貢献できればと考えております。

施設長 南 昌伸

投稿写真

議会広報委員会



青少年旅行村タイドプールから望む口永良部島

投稿写真募集

風景・行事等テーマは問いません。このコーナーで紹介したい写真をお持ちの方、ぜひご提供ください。一言、写真の説明文を添付していただければたいへん助かります。採用された方には、粗品を進呈いたします。不明な点がありましたら、議会事務局へお問い合わせください。

クイズ

問①一般会計当初予算は？

()

②屋久島の里伝統文化記録事業を行う集落数は？

()

③議会報告会は今年で何回目？

()

※クイズの正解者の中から抽選により、3名の方に図書券を進呈いたします。

◆応募方法

住所・氏名・年齢を明記の上、ハガキで下記へご応募ください。

◆締切日

平成29年8月4日(金)

消印有効。

◆応募先住所等

〒891-4404

屋久島町尾之間157番地

議会事務局クイズ係

電話 4315900

(内線372)

▼前号の正解は、次のとおりです。

問1 (平成29年7月20日)

問2 (621万6千円)

問3 (12月2日)

◎正解者の中から、抽選により、次の方々に2千円相当の図書券をお贈りしました。

○石原 茂夫様(尾之間)

○山崎 スエノ様(栗生)

○寺田 夢菜様(宮之浦)

議会を見にきませんか

・だれでも自由に傍聴できます。
・受付簿に住所、氏名を記入していただくだけです。

◎議会(定例会・臨時会)は

宮之浦支所と尾之間支所で開催されています。

6月1日から11月30日までは…宮之浦支所議場

12月1日から5月31日までは…尾之間支所議場

編集後記

今年久しぶりに島に観光客が戻り、賑わいを実感した。

屋久島レクリエーションの森保護管理協議会調査のゴールデンウィーク期間中の入林者数は、白谷雲水峡6150人(前年比2074人増)、ヤクスギランド2872人(前年比916人増)となっています。

月別集計では今年5月、白谷は過去最高の13660人(平成20年度)の記録を更新し○○○○人となった。

町と観光協会が主となって実施した関東・関西での観光客誘致のキャンペーンや「福岡市・九州離島広域事業」(福岡市・対馬市・豊岐市・五島市・新上五島町・屋久島町)等取り組んでいるRe島プロジェクト)等の成果が表れてきたと言えるでしょう。

なお、近年外国からの観光客が目立っていますが、昨年度の白谷とランドの外国人の入林者数は合計12438人で、全体(160196人)の8%弱を占めています。昨年度の国別では、中国19699人、米国1244人、香港1199人、フランス1166人、台湾1061人、韓国9212人、オーストラリア678人、ドイツ6222人の順で、実に41カ国以上となっています。

明るい兆しが見えてきた屋久島の観光業に期待するとともに、町の観光施策にも注視していきたい。

(山崎)

発行責任者

議長

日高好作

編集責任者

議会広報委員会

委員長

山崎利広

副委員長

緒方健太

委員

渡辺博之

真辺有次